

女性にやさしい職場環境づくりモデル事業【宮城県】

| | |
|------|----------|
| 総事業費 | 7,743 千円 |
| 交付金額 | 3,663 千円 |

地域の実情と課題

- ・大学、短期大学などを卒業し、就職する若年層の半数以上が県外に転出しており、特に女性については転出超過が続いている。
- ・多くの若年層が県内に定着しやすい環境の整備を推進する必要があり、女性活躍の推進への対応など女性にとって働きやすい環境の整備が必要である。

目的・目標

県内企業における女性が働きやすい環境整備を支援する。

【目標】・モデルケース 10件支援
 ・女性のチカラは企業の力認証企業数 100件増

【実績】・モデルケース 13件支援
 ・女性のチカラは企業の力認証企業数 64件増

事業の特徴

- ・女性が働きやすい環境整備に支援を行うため、社会労務士等のアドバイザーを派遣し、社内規則の改正や、「くるみん」、「えるぼし」、「女性のチカラは企業の力」などの認証取得を促すなど、就労環境の向上を図る。

連携団体

- ・一般社団法人宮城県経営者協会、公益財団法人せんだい男女共同参画財団、宮城県町村会、仙台経済同友会、仙台市、特定非営利活動法人イコールネット仙台、日本労働組合総連合会宮城県連合会、宮城県漁業協同組合、宮城県商工会議所連合会、宮城県商工会連合会、宮城県中小企業家同友会、宮城県中小企業団体中央会、宮城県農業協同組合中央会、宮城県、宮城労働局

事業の効果

- ・アドバイザーを派遣した企業について、女性のチカラは企業の力の取得、社内規定の改正などが確認された。

今後の課題

- ・女性が働きやすい企業を増やすために、事業の認知度の向上、企業の意識改革を図り、継続して事業を実施する必要がある。
- ・仙台近郊の企業が支援対象の多くを占めていることから、各地域の商工会等と協力し、地域部における支援の浸透を図る必要がある。

